

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

小松市教育委員会

令和7年度の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。市教育委員会では、結果を公表することで、地域の皆様に本市の子供たちの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が一体となって、子供たちの健全な育成を図っていきたいと考えております。今後ともご理解とご協力をお願いします。

1 参加校

小学校 22校／22校 中学校 9校／9校 義務教育学校 1校／1校

2 対象学年・教科・調査者総数

① 教科に関する調査

対象学年	調査教科	調査者総数
小学校 第6学年	国語	822人
	算数	822人
	理科	823人
中学校 第3学年	国語	857人
	数学	855人

国語、算数・数学の出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりである。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②が一体的に出題されています。

② 質問調査

- ・児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

対象学年	調査者総数
小学校第6学年	822人
中学校第3学年	842人

- ・学校に対する調査（学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

対象学校	調査学校数
小学校	22校
中学校	9校
義務教育学校	1校

3 調査結果の状況

① 教科に関する調査の状況

小学校の状況

	石川県	全国
国語	平均並み	上回る
算数	平均並み	上回る
理科	上回る	大きく上回る

全国との比較においては、国語と算数は全国を上回る、理科は大きく上回る結果となりました。

県との比較においては、国語・算数とも県と同程度、理科は上回る結果となりました。

中学校の状況

	石川県	全国
国語	やや下回る	平均並み
数学	やや下回る	上回る

全国との比較においては、国語は同程度、数学は全国を上回る結果となりました。

県との比較においては、国語・数学ともにやや下回る結果となりました。

② 調査結果から見える小松市の共通課題

- ・ 小学校については、知識・技能の正答率が低く、基礎的な学力や基本的な内容の定着に課題が見られる。
- ・ 中学校については、思考・判断・表現の正答率が低く、思考したり表現したりする力の育成に課題が見られる。

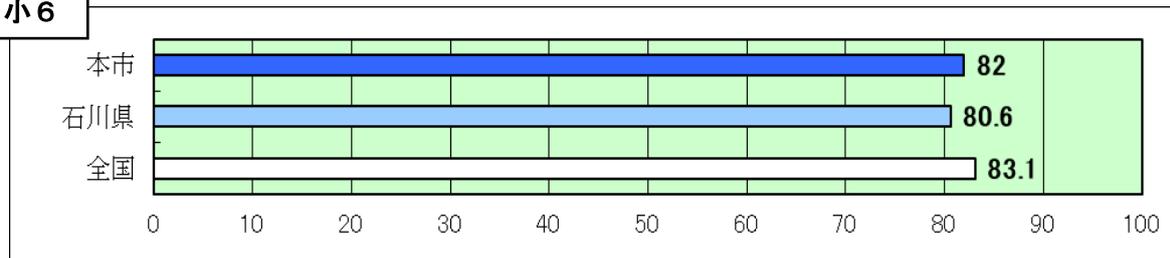
③ 質問調査から見てきた小松市の児童生徒の様子

(凡例のないグラフは、質問事項に対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合を示しています。)

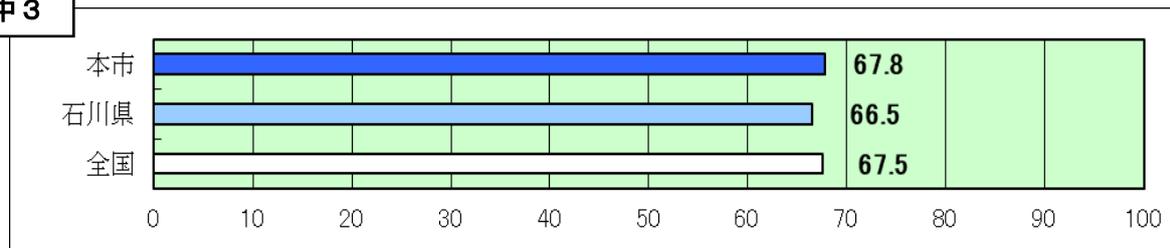
<挑戦心、達成感、自己有用感等>

◇将来の夢や目標を持っている

小6

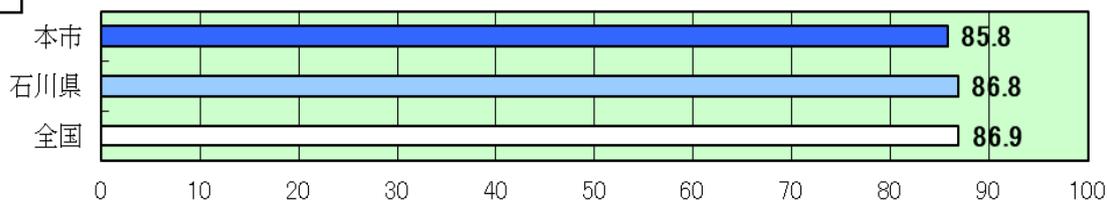


中3

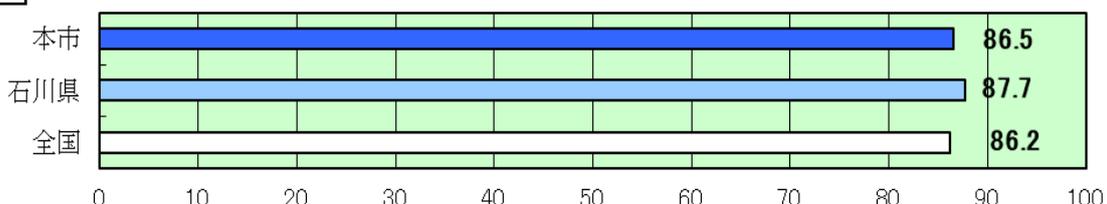


◇自分には、よいところがあると思う

小6



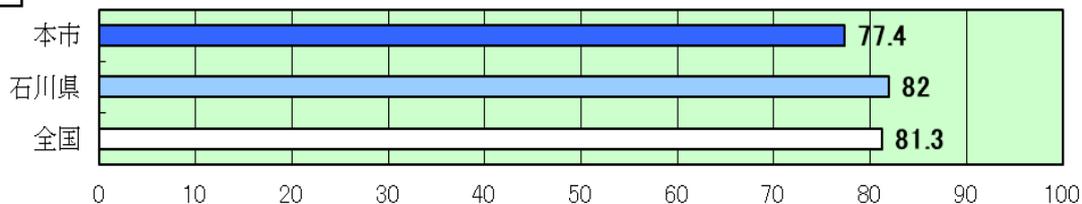
中3



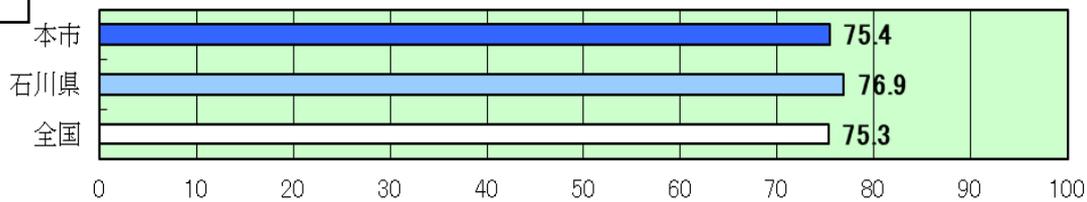
<地域や社会に関わる活動>

◇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

小6



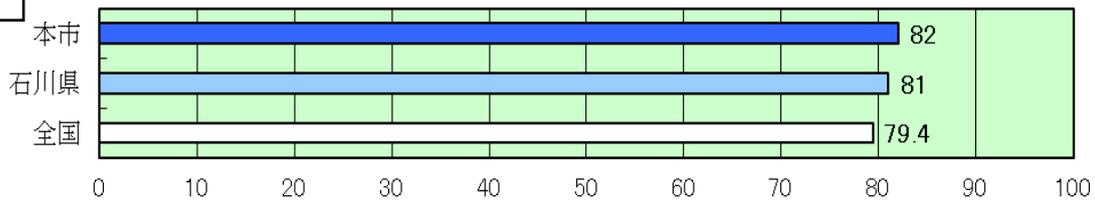
中3



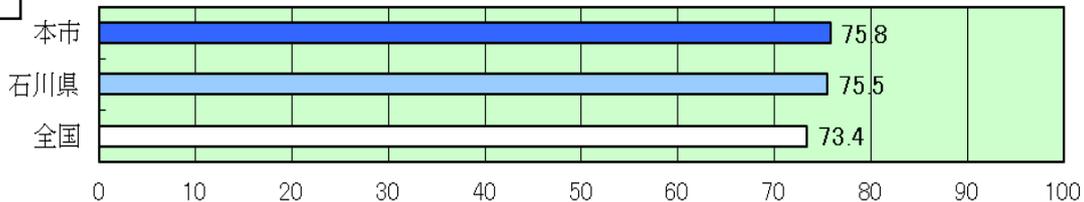
<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善>

◇学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている

小6



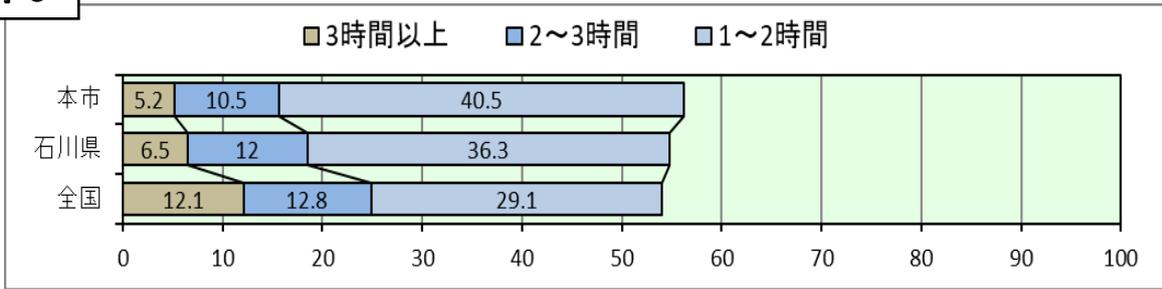
中3



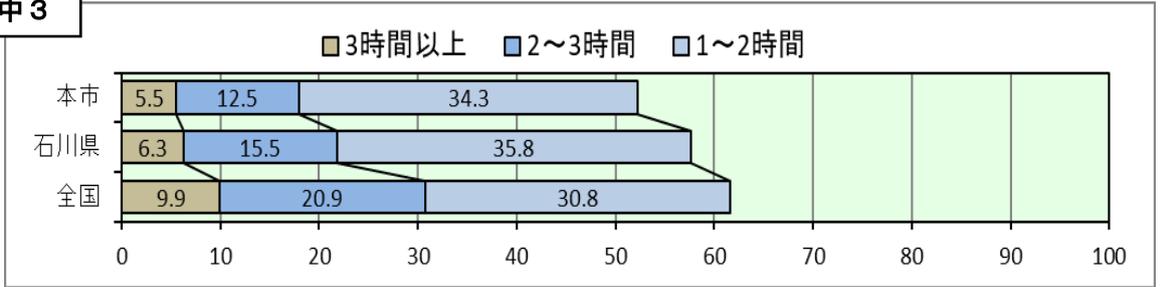
<学習時間等>

◇普段（月～金曜日）、1日当たりの勉強時間

小6

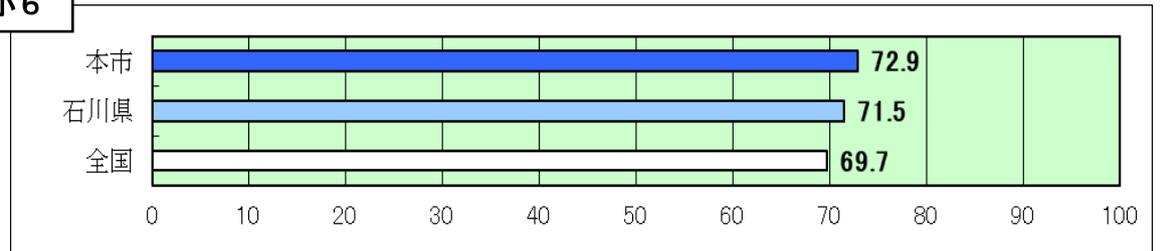


中3



◇読書が好きだ

小6



中3

